



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東  
 コード番号 9997 URL <https://www.belluna.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	50,826	△1.1	1,591	62.0	1,258	△25.2	739	△25.7
2025年3月期第1四半期	51,368	△0.9	982	△15.1	1,681	△9.6	994	△28.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △518百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 2,729百万円(△47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	7.68	—
2025年3月期第1四半期	10.28	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	317,112	139,742	44.0
2025年3月期	312,462	141,656	45.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 139,394百万円 2025年3月期 141,314百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	14.50	—	14.50	29.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,800	0.7	4,000	12.0	3,290	△20.6	1,900	△25.9	19.75
通期	214,600	1.8	13,500	13.6	13,500	1.8	9,500	8.0	98.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	97,244,472株	2025年3月期	97,244,472株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	1,017,129株	2025年3月期	1,017,041株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	96,227,398株	2025年3月期1Q	96,699,009株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外客数が1月～6月の期間において過去最高を記録するなどにより景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、食料品や生活用品などの価格上昇が継続しており個人消費の冷え込みが懸念されております。また、米国の関税政策をめぐる不確実性の高まりや長期化する地政学リスクなど依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループは前期より8つのセグメントを今後の成長性・収益性の拡大を担う「グロース事業」と安定した収益性・継続性・社会性を主眼においた「サステナブル事業」の2つにグループイングをし、それぞれに適した経営資源の配分、事業展開を図っております。

その結果、当連結会計年度の売上高は50,826百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は1,591百万円（同62.0%増）となりました。経常利益は前年同期と比べ為替差益が減少したこと、シンジケートローンの締結にかかわる支払手数料が発生したことなどにより1,258百万円（同25.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は739百万円（同25.7%減）となりました。

#### 〔プロパティ事業〕

国内ホテル事業においては、国内旅行やインバウンド需要が増加したことなどにより増収増益となりました。国内リゾート型ホテルにおいては、北海道エリアを中心に稼働率や客室単価が上昇したため増収となりましたが、2024年12月に定山溪ビューホテル内にオープンしたエグゼクティブスイート翠嶺の設備投資の影響や軽井沢ホテル&リゾートのウェディング事業の不調もあり減益となりました。国内都市型ホテルにおいては、すべてのホテルが堅調に推移し増収増益となりました。特に札幌エリアや万博開催中の関西エリアの稼働率や客室単価が大幅に上昇しました。この結果、売上高は9,193百万円（同24.5%増）となり、セグメント利益は910百万円（同19.9%増）となりました。

#### 〔化粧品健康食品事業〕

化粧品通販事業においては、新規顧客の獲得数減少や新規購入者の定期コース継続率の低下などにより減収となりました。一方で、非効率な広告宣伝を控え収益性の確保を優先したため増益となりました。健康食品通販事業においては、新規顧客の獲得効率改善は不十分であったものの、既存顧客の定期コース継続率が改善傾向となったため減収増益となりました。この結果、売上高は2,864百万円（同14.0%減）となり、セグメント利益は247百万円（同411.7%増）となりました。

#### 〔グルメ事業〕

グルメ通販事業においては、食品頒布ジャンルの売上が前年同期に比べ好調に推移した一方で、食品単品ジャンルは苦戦しました。この状況を踏まえ、紙媒体の発行数量を抑制し収益性を重視しましたが減収減益となりました。ワイン通販事業においては、新規顧客獲得が好調に推移したため増収増益となりました。この結果、売上高は6,728百万円（同2.5%増）となり、セグメント利益は47百万円（同55.9%増）となりました。

#### 〔ナース関連事業〕

看護師向け通販事業においては、一部販売経路における商品価格やサービスレベルの見直し、カタログ媒体の発行数量を抑制するなど収益性の改善を重視しました。また、不採算事業であった看護師転職サイト「ナースキャリアネクスト」のサービスを2025年6月30日に終了しました。この結果、売上高は3,640百万円（同1.6%減）となり、セグメント利益は223百万円（同60.9%増）となりました。

#### 〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、不採算店舗の閉店や既存店舗における販売単価及び新規絹布販売数が前年同期と比べ減少したことなどにより減収減益となりました。衣裳レンタル事業においては、早期受注会の実施拡大による卒業式袴レンタルの受注増加や前撮りサービスの提案強化などにより増収になった一方で、受注経費が増加したため減益となりました。この結果、売上高は3,521百万円（同6.9%減）となり、セグメント損失は1,140百万円（前年同期は942百万円のセグメント損失）となりました。

〔アパレル・雑貨事業〕

アパレル・雑貨通販事業においては、原材料・資材価格及び紙・印刷価格が高止まりする中、DM配送費の値上げもあり、紙媒体の発行数量を減らすなど収益性を重視し広告宣伝費の抑制を図りました。あわせて、不採算事業であったファッションECモールサービスを2025年3月31日に終了したことにより減収となりましたが収益性は大幅に改善し黒字転換いたしました。この結果、売上高は19,797百万円（同9.1%減）となり、セグメント利益は339百万円（前年同期は283百万円のセグメント損失）となりました。

〔その他の事業〕

アパレル卸売事業においては、クライアント各社の展開縮小が継続している一方で、在庫処分が前年同期と比べ減少したことなどにより減収増益となりました。旅行代理店事業においては、成長性を優先し積極的に広告宣伝を行ったことなどにより増収減益となりました。この結果、売上高は894百万円（同18.9%増）となり、セグメント損失は134百万円（前年同期は102百万円のセグメント損失）となりました。

〔データベース活用事業〕

封入・同送サービス事業においては、アパレル・雑貨通販事業におけるカタログ発行数及び商品発送数の減少などにより減収減益となりました。フルフィルメント受託サービス事業においては、新規クライアントの獲得が順調であったことや既存クライアントからの売上が増加した一方で、人件費の上昇などにより増収減益となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客が前年同期と比べ効率的に獲得できたことなどにより増収増益となりました。この結果、売上高は4,511百万円（同3.2%増）となり、セグメント利益は1,126百万円（同16.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比1,028百万円減少し、130,415百万円となりました。これは主に、商品及び製品が1,874百万円、販売用不動産が1,645百万円増加した一方で、現金及び預金が3,715百万円、原材料及び貯蔵品が396百万円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比5,678百万円増加し、186,697百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が1,384百万円、土地が2,150百万円、建設仮勘定が2,766百万円、投資有価証券が626百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比4,650百万円増加し、317,112百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比6,288百万円減少し、55,328百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,106百万円、契約負債が1,481百万円増加した一方で、未払費用が1,207百万円、短期借入金が5,191百万円、未払法人税等が1,940百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比12,852百万円増加し、122,042百万円となりました。これは主に、長期借入金が12,479百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比6,564百万円増加し、177,370百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比1,914百万円減少し、139,742百万円となりました。この結果、自己資本比率は44.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年5月13日の公表から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,414	31,699
受取手形及び売掛金	10,866	11,158
営業貸付金	34,466	35,206
有価証券	314	310
商品及び製品	25,664	27,538
原材料及び貯蔵品	1,372	976
販売用不動産	7,182	8,827
仕掛販売用不動産	1,690	1,598
その他	15,448	14,111
貸倒引当金	△978	△1,012
流動資産合計	131,443	130,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	84,031	85,415
機械装置及び運搬具（純額）	7,299	7,096
工具、器具及び備品（純額）	2,575	2,392
土地	47,410	49,560
リース資産（純額）	1,813	1,866
建設仮勘定	2,823	5,589
有形固定資産合計	145,954	151,921
無形固定資産		
のれん	2,682	2,563
リース資産	556	498
その他	8,581	8,224
無形固定資産合計	11,820	11,285
投資その他の資産		
投資有価証券	14,576	15,203
長期貸付金	1,986	1,941
破産更生債権等	271	242
繰延税金資産	1,318	1,141
その他	5,835	5,673
貸倒引当金	△744	△711
投資その他の資産合計	23,244	23,490
固定資産合計	181,018	186,697
資産合計	312,462	317,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,601	10,708
電子記録債務	3,259	3,209
未払費用	13,995	12,787
短期借入金	24,849	19,658
1年内償還予定の社債	5	-
リース債務	472	454
未払法人税等	2,678	738
契約負債	3,452	4,934
賞与引当金	984	549
店舗閉鎖損失引当金	65	-
その他	2,251	2,287
流動負債合計	61,616	55,328
固定負債		
長期借入金	102,853	115,332
利息返還損失引当金	242	230
リース債務	2,079	2,107
退職給付に係る負債	223	259
役員退職慰労引当金	249	248
資産除去債務	1,069	1,090
修繕引当金	147	154
その他	2,324	2,618
固定負債合計	109,189	122,042
負債合計	170,805	177,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	11,375	11,375
利益剰余金	118,956	118,299
自己株式	△794	△794
株主資本合計	140,149	139,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,136	2,615
繰延ヘッジ損益	159	△54
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△1,163	△2,670
退職給付に係る調整累計額	38	17
その他の包括利益累計額合計	1,164	△99
非支配株主持分	342	348
純資産合計	141,656	139,742
負債純資産合計	312,462	317,112



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	51,368	50,826
売上原価	20,026	19,178
売上総利益	31,342	31,647
販売費及び一般管理費	30,359	30,056
営業利益	982	1,591
営業外収益		
受取配当金	179	127
為替差益	527	174
その他	243	307
営業外収益合計	949	609
営業外費用		
支払利息	164	287
支払手数料	13	531
店舗閉鎖損失	21	72
その他	50	50
営業外費用合計	250	942
経常利益	1,681	1,258
特別損失		
固定資産除却損	4	1
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	1,677	1,257
法人税、住民税及び事業税	664	440
法人税等調整額	10	66
法人税等合計	674	506
四半期純利益	1,002	750
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	994	739

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,002	750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	227	478
繰延ヘッジ損益	△47	△213
為替換算調整勘定	1,523	△1,513
退職給付に係る調整額	23	△21
その他の包括利益合計	1,727	△1,269
四半期包括利益	2,729	△518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,687	△524
非支配株主に係る四半期包括利益	42	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	グロース領域				サステナブル領域			データ ベース 活用 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロパティ 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	呉服関連 事業	アパレル ・雑貨 事業	その他の 事業			
売上高										
外部顧客への売上高	7,260	3,331	6,481	3,701	3,762	21,739	733	4,357	—	51,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	125	0	84	—	20	37	18	13	△299	—
計	7,385	3,332	6,566	3,701	3,782	21,776	752	4,371	△299	51,368
セグメント利益(又は セグメント損失△)	759	48	30	138	△942	△283	△102	1,340	△7	982

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳70百万円とのれん償却費△78百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	グロース領域				サステナブル領域			データ ベース 活用 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロパティ 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	呉服関連 事業	アパレル ・雑貨 事業	その他の 事業			
売上高										
外部顧客への売上高	9,047	2,864	6,635	3,640	3,490	19,765	886	4,496	—	50,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	146	0	93	0	31	31	7	15	△325	—
計	9,193	2,864	6,728	3,640	3,521	19,797	894	4,511	△325	50,826
セグメント利益(又は セグメント損失△)	910	247	47	223	△1,140	339	△134	1,126	△28	1,591

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳72百万円とのれん償却費△101百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,450百万円	1,706百万円
のれんの償却額	78	101